

専称寺の文化財

～僧侶の学問所～



専称寺文書（専称寺蔵）

令和6年11月2日(土)～令和7年2月16日(日)

開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）
休館日 毎月第3水曜日（祝日の場合はその翌平日）
観覧料 一般330（280）円・
中高大220（170）円・小170（110）円

◎協力：専称寺 ◎後援：浄土宗

※カッコ内は20名以上の団体割引料金
※いわき市に住所を有する65歳以上の方、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、いわき市内の小・中・高・専修・高専生（土曜日・日曜日のみ）は無料
※いわき市文化財サポーターの方などは団体割引料金

ホームページ



X



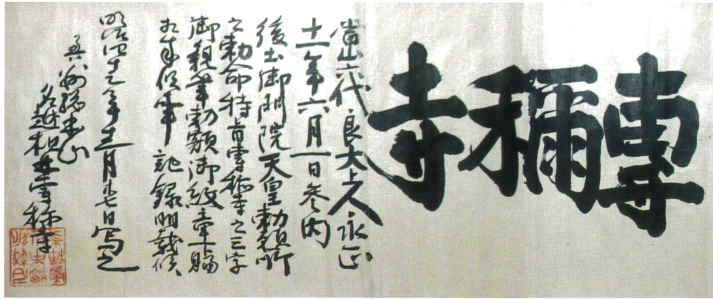
 **いわき市勿来関文学歴史館**
Iwaki city Nakaso Barrier Museum of Literature and History

〒979-0146 福島県いわき市勿来町関田長沢6-1
Tel: 0246-65-6166 Fax: 0246-65-6167 E-mail: bunreki@iwaki-ec.or.jp

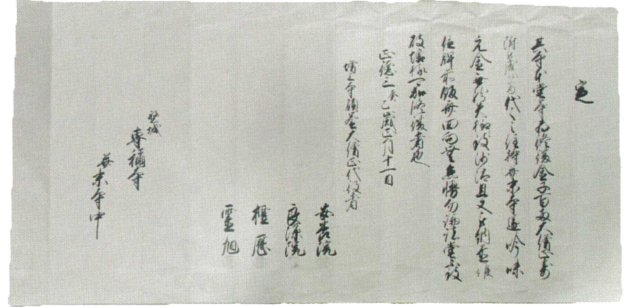
梅福山報恩院専称寺は、いわき市平山崎に所在するお寺です。応永2（1395）年、良就十声によって開山されました。浄土宗名越派の檀林（僧侶の学問修養の道場となったお寺）として発展し、江戸時代には名越派の総本山となりました。

専称寺は本堂、庫裏、総門が国指定重要文化財（建造物）となっているほか、境域が県指定史跡・名勝、鐘楼堂が市指定有形文化財（建造物）となっています。現在、専称寺境内には約500本の梅が植えられており、梅の名所として多くの人に愛されています。

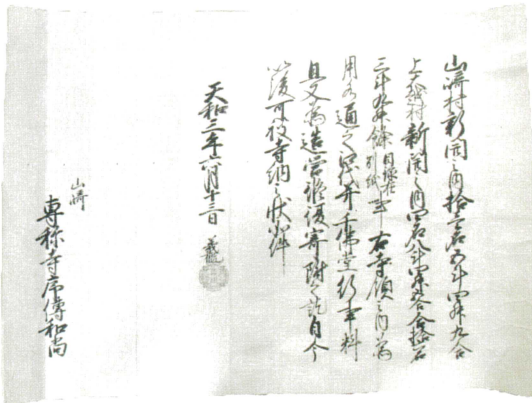
本展は、令和6（2024）年に浄土宗開宗850年を迎えることを機に、専称寺が所蔵する「専称寺文書」をご紹介しますとともに、専称寺の歴史について解説します。



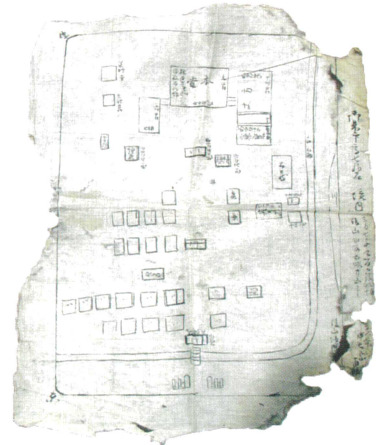
専称寺御親筆勅額の記



祐天上人寄進状



内藤義概寄進状



境内図

（いずれも専称寺蔵）

会期中のイベント

講演会

「袋中上人が抱いた故郷への思い—名越派本山専称寺、如来寺、円通寺宛の文書から—」

琉球王国から帰国した袋中上人は、京都の檀王法林寺、奈良の念仏寺を拠点として多くの文書を作成します。浄土宗名越派本山である専称寺、元本山であった如来寺、檀林寺である円通寺（栃木県益子町）に送られた文書から、袋中上人が抱いた名越派への思いを読み解きます。

日時：令和7年1月25日（土）14:00～15:30

会場：体験学習施設 吹風殿（当館に隣接）

講師：渡辺匡一氏（信州大学人文学部教授）

定員：50名（先着順、要事前申込）

申込期間：11月2日（土）～定員に達し次第受付終了

申込QR



ギャラリートーク

日時：11月10日（日）・12月8日（日）・1月12日（日）・2月9日（日） いずれも14:00～14:30

当館学芸員が展示内容について解説します（事前申込不要）。

関連イベント

見学会「専称寺の歴史と文化財」

住職・遠藤弘道氏によるご案内で専称寺を見学します。国指定重要文化財に指定されている建造物のほか、普段は目にするのでできない、専称寺が所蔵する貴重な資料を見学します。

主催：専称寺 共催：いわき市勿来関文学歴史館

日時：12月14日（土）10:30～11:30 会場：専称寺

定員：20名（要事前申込）

※応募者多数の場合は抽選を行います。

申込期間：11月2日（土）～11月24日（日）

申込受付：いわき市勿来関文学歴史館

申込方法は下記をご参照ください。

※詳細は別途配布される募集チラシをご覧ください。

お問合せ先：いわき市勿来関文学歴史館

申込QR



※講演会、専称寺見学会は電話またはメール、QRコードにてお申し込みください。
※SNSからの連絡については、対応できない場合がありますので、ご了承ください。